

令和 3年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名：道路街路課
 担当名：交通安全施設整備担当
 内線：5097 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B1	社会資本整備総合交付金（交通安全）事業費		一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	社会資本整備総合交付金（交通安全）事業費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	道路法 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律		宣言項目 分野施策	04 020411	地域をつなぐ社会基盤の整備 交通安全対策の推進	SDGsゴール 3, 9, 11 SDGsターゲット 3-6, 9-1, 11-3
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>県管理道路において、歩道の新規設置や拡幅整備を行うことにより、歩行者の安全を確保し交通事故の軽減につなげる。</p> <p>また交差点部付近において、交通事故の約6割が発生しており、慢性的な交通渋滞も発生している。右折帯設置などの交差点改良を行うことにより、交通事故の軽減と交通渋滞の緩和につなげる。</p> <p>国庫支出金の内定に伴う所要の補正</p> <p>(1) 歩道整備 618,298千円 (2) 交差点改良 429,469千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 歩道整備 : 歩道が無い所や狭い場所において、歩道の新規設置や拡幅整備を行う。 イ 交差点改良 : 交差点部において、右折帯又は右折避讓帯の整備を行う。</p> <p>国庫支出金の内定に伴う所要の補正 1,047,767千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 歩道整備 : 一般県道笠幡狭山線（狭山市） 外14箇所の整備を行う。 イ 交差点改良 : 一般県道騎西鴻巣線（行田市） 外10箇所の整備を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 歩道整備 歩道の新規設置又は拡幅整備により、歩行者が安全に通行できるようになり、交通事故の軽減につながる。 イ 交差点改良 交差点を改良することにより、交通渋滞が緩和され、排出ガスの低減にもつながる。 また、車両が安心して右折できるため交通事故の低減にも有効である。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) (国5.5/10・県4.5/10) (2) (国4.5/10・県5.5/10)</p>								
3 地方財政措置の状況								
<p>公共事業等債 充当率 90% (通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分 50%</p>								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
<p>9,500千円×2.6人=24,700千円</p>								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,047,767	国庫支出金	530,906	県債	517,000		△139	2,576,767
現計額	1,529,000	830,500	698,000				500	